

韓国語

第1 高等学校教科担当教員の意見・評価

1 前 文

今回初めて大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）に「韓国語」が導入された。外国語では、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」に次いで5番目の導入で、その実施にあたり様々な方面から注目を浴びた。特に日本国内よりも両国間の歴史的経緯を反映してか、韓国における注目度が高く、今回の実施により日本の高校生が韓国朝鮮語を学習する新たな動機づけが生まれるのではないかという期待感を抱いていたようだ。実際に我々高等学校の現場で韓国朝鮮語を教える教員も、いったい何名が受験し、どのような問題が出題されるのか、興味深く見守っていた。結果として、最終受験者は99名。受験者の平均得点は165.40を記録した。一見異常なほどの平均点の高さで、非常に易しい問題が出題されたと思われる方もいるだろうが、この平均点の高さが実は、問題の難易度とは全く関係ないことが、ある統計から明らかになった。今回の受験者の得点分布はその約半数が180点以上に分布していたのである。それ以外の受験者の得点は最低点38点から均等に点在していたにも関わらず、である。このことから、受験者の約半数（もしくはそれ以上）が、日本の高等学校で韓国語を学習して今回の入試に臨んだ者ではないと推測される。はっきりしたことは分からないが、おそらく民族学校出身者かもしくは帰国生徒ではないかと思われる。つまり、彼らにとっては問題の難易度はそれほど関係なく、おそらく今回の問題よりも数段難しい問題が出題されても同様の点数を獲得するのではないだろうか。

さて、今回のセンター試験受験者の中で、日本の高等学校で韓国朝鮮語の授業を履修して受験した生徒の割合が、このように少なかった原因はどこにあるのであろうか。このことを少し考えてみたい。まずは、第1回目の実施であるため、あまりにも試験問題に関する情報が少なく、そのため受験を差し控えた生徒がいたことは想像に難くない。しかし、それだけであろうか。我々は、現況の教育とセンター試験実施の間に大きな隔たりがあることを指摘したい。2001年度現在、約150を越える日本の高等学校で韓国朝鮮語の授業が行われている。学習している高校生の数は、正確には把握できないが、4,000名ほどいると言われている。しかし、その殆どの高等学校は2～4単位の授業単位数で、これを時間数になおすと50～100時間程度である。この50～100時間の学習時間でどれくらい韓国朝鮮語を習得できるだろうか。少しでも韓国朝鮮語を学習した方ならお分かりいただけると思うが、韓国朝鮮語の学習の初期は、その多くの時間を、発音と文字の習得に費やさざるを得ない。つまり、ハングルという独自の文字と日本語には無い様々な発音を理論的に理解し習得するのに、上記の50～100時間の大部分は費やされるのである。むしろ簡単な日常会話、自己紹介や挨拶程度はこの時間内に学習可能であるが、体系だった文法や語法の学習までは手が届かないのが実情だ。つまり、この現状から見る限りにおいて今回の韓国語のセンター試験実施は、「大学入試センター試験は、大学に入学を希望するものの高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的とする」とするセンター試験の実施趣旨からは、かなり遠いものであると言わざるを得ない。このことが、日本の高等学校での授業学習受験者の割合が少なかった大きな原因であることは間違いなく、今

回の「韓国語」センター試験に関しては、実施段階において大きな自己矛盾が存在していたのである。

では、今回の「韓国語」試験の実施は、日本の高等学校で韓国朝鮮語を学習している生徒にとって全く無意味だったのであろうか。我々は、そうは考えていない。仮に、現場の教育状況に立脚していない無理な導入であったとしても、これを契機に一人でも多くの学生が韓国朝鮮語の学習を希望し、実際に学習した言葉を使って両国の未来のために積極的にコミュニケーションをはかる可能性が、少しでもあるのであれば、我々はこの試験の実施を基本的には肯定的に受け止め、出題者に対し一人でも多くの学習者が受験できるようなセンター試験の実施を要求していくつもりである。

一 試験範囲の提示と学習のめやすの必要性一

さて、先に韓国朝鮮語の学習者は、英語等他の外国語に比べると極端に学習時間が少ないことを述べた。学習時間が潤沢でない高校生が今回のような内容のセンター試験を受験するためには、何が必要となってくるのだろうか。それは、何よりも明確な形で試験範囲及び学習の目安の提示であろう。後でも言及するが、我々の調査の結果、今回の試験問題の難易度は本試験・追試験ともほぼ他の外国語と同程度のもので推測できる。既存の学習テキストや能力試験に照らし合わせてみたところ、今回の試験で6～7割の得点を獲得するためには、おおよそ学習時間としては300～400時間、単位数では12単位～14単位が必要なことが分かった。つまり、2～4単位の学習者が受験するためには、高等学校の授業時間以外に、どこかで10単位(250時間)分ほどの学習時間を確保しなければならない計算になる。おそらく、当面は今回の試験問題の水準と大きく違わない水準での出題が見込まれるので、現場で生徒を指導なさる先生方はこの10単位分の学習をどうするか、生徒と一緒に考えていただきたい。計画的な補習時間を確保するか、もしくは、夏休み等を利用して韓国現地で行われる短期集中の言語学習を奨励していただくのも一つの方法かと思われる。

現在、日本では高等学校教育用の教科書(市販されているもの)は、授業単位数の多少にかかわらず、未だ存在していない。前に述べたおおよそ150校の教員は、現場の生徒の水準や自らが考えた学習目標に応じて市販の入門書や自前のテキストを使っている。そこで、我々は多くの授業時間数を想定したテキストとして、現在韓国の大学の語学研究機関で使用されている語学教材を2冊選び、今回の試験問題がこの教材の学習進度のどの部分に相当するのかを調査してみた。その調査結果に我々のコメントを加えた表を、以下の「2 試験問題の内容、範囲等」で提示する。また参考として現在実施されている「ハングル能力検定試験」の級数では、どこに相当するかも、過去の試験問題に照らし合わせて例示してみた。(2001年後期実施分まで)参考にしていただきたい。また、誤解のないようにことわっておきたいのだが、今回検討したのは、試験問題中の設問部分と正答部分の「文法・表現項目」と「語彙項目」のみである。実際には正答以外の各誤答についてもすべて検討するべきなのだろうが、時間的制約があり不可能であった。

2 試験問題の内容、範囲等

我々が参考にした慶熙大、延世大テキストとも入門の1巻から段階的に6巻までであるが、1～4巻までを参考にした。(慶熙大テキストの5、6巻は現在制作中)各巻とも韓国現地での約200時間ずつの学習時間を基本としている。つまり、1巻終了まで200時間、2巻の場合は約400時間を必要としている。また、表中の数字は巻数を表す。－の表示は1～4巻には発見できなかったものを表す。ハングル能力検定試験は、入門が5級で4、3、準2級、2級、準1級、1級の順で難易度が高くなっ

ている。ここでは5級から2級までを参考にした。表中ではハングルと記した。

(1) 本試験について

問題	領 域	慶熙大	延世大	ハングル
第1問A				
問1	発音(濃音化) ㅏ / ㅑ	2	2	3級
問2	発音(濃音化) ㅓ / ㅕ	2	2	3級
第1問B				
	発音(激音化/舌側音化) ㅗ / ㅛ	2	1	4級
第1問C				
問1	漢字語の読音 先/洗/宣	3	2	3級
問2	漢字語の読音 級/及/吸	3	—	3級
問3	漢字語の読音 横/黄/往	3	—	3級

*漢字語の読音に関して、一般的に日本でも韓国でもハングルのみを提示する教材がほとんどであるため、基礎漢字語彙の提示が必要であると思われる。それ以外は適切である。

第2問A				
問1	用言活用 모자라다	—	2	4級
問2	用言活用 쉰다	2	1	4級
第2問B				
問1	用言活用ㄹ不規則 누르다	2	1	4級
問2	用言活用ㅍ不規則 묻다	2	1	4級
第2問C				
問1	連語・語彙 해가 지다	—	—	4級
問2	助数詞 벌	2	2	4級
問3	助詞の用法 이 / 가 되다	1	1	5級
問4	語尾の用法 더라도	3	3	準2級
問5	間接話法 오시라고	3	2	3級
問6	表現 ㄹ 수 없다	2	1	3級

*第2問Cの問4はセンター試験の問題としては難易度が高すぎると思われる。それ以外は適切である。

第2問D				
問1	類義語 같이 / 함께	1	1	3級
問2	類義語 늘 / 향상	3	2	3級
問3	類似表現 ㄹ까 보다 / ㄹ까 해서	4	2	3級
問4	類似表現 먼 ㄹ수록 / 에 따라	4	3	3級

*第2問Dの問3・4の類似表現は難易度がやや高い。それ以外は適切である。

第2問E				
問1	複数の意味を持つ語彙 불이 나다	4	3	準2級
問2	複数の意味を持つ語彙 수 (場合/術)	3	2	準2級

*第2問Eの複数の意味を持つ語彙に関する問題はおもしろい問題であると思われるが、語彙の選定についてはもう少し配慮が必要である。それ以外は適切である。

第2問F				
問1	翻訳 ~가 어떻게 되세요?	3	1	3級
問2	翻訳 거의 다 왔다	3	2	3級
問3	翻訳 ~기로 하다	3	1	3級
問4	翻訳(慣用表現) 한눈 팔다	—	—	3級

*第2問Fの問4の慣用表現については、かなり難易度が高い。慣用表現についても現況では範囲の提示が必要ではないだろうか。それ以外は適切である。

第3問A				
問1	語彙(疑問詞) 언제	1	1	4級
問2	表現(謙譲) 신세 지다 / 아뇨, 필요	—	3	4級
問3	語彙(副詞) 오래 되다	3	2	3級
問4	表現(拒絶) 됐어요	1	1	3級
問5	指示詞(日本語との比較)	1	1	3級
問6	表現 얼마나 좋을까	3	2	準2級

*第3問Aの問2の謙譲表現は、高校生があまり日常で使用したり聞いたりすることのない表現なので不適切ではないだろうか。それ以外は適切である。

第3問B				
問1	文脈理解 빌려 주세요 / 제 책이 아니다	2	1	準2級
問2	翻訳 어떻게 ~ㄴ 수 없을까요?	3	1	3級

第3問C				
問1	文脈理解 무슨 일 있어요?	2	1	3級
問2	翻訳 아무	3	2	3級
問3	表現(反語的な意味で使う) 언제	—	2	3級

第4問				
問1	表現 다가	2	2	3級
問2	慣用的表現 마음을 먹다	4	2	3級
問3	表現・意味 ~면 어때?	3	1	3級
問4	意味把握 괴롭다 / ㄴ 적이 없다	3	2	3級

第5問				
問1	意味把握 소용이 없다	4	3	準2級
問2	意味把握 数字/家族の呼称	1	1	4級
問3	動詞の語尾 名詞形の기 드물다	3	3	3級
問4	動詞の語尾 連体形	2	1	3級
問5	意味把握 입에 맞다 / 예정	3	2	3級

(2) 追試験について

問題	領 域	慶熙大	延世大	ハングル
第1問A				
問1	漢字語の発音（濃音化） ㄷ / ㅌ	3	3	3級
問2	漢字語の発音（濃音化） ㄷ / ㅌ	3	3	3級
第1問B				
	発音（舌側音化／口蓋音化） ㄹ / ㄴ	—	1	4級

*第1問Bの口蓋音化の問題は、ほかに該当する語がほとんどなく、それ1語を覚えていればよい問題ではあるが、センター試験の問題としてはあまり適切ではないのではないだろうか。それ以外は適切である。

第1問C				
問1	漢字語の読音 接／説	—	2	3級
問2	漢字語の読音 染／善／川	—	3	3級
問3	漢字語の読音 不の2種類	—	—	準2級

*本試験の問題と同様に漢字語の読音については、出題するのであれば基礎漢字語彙の提示が必要である。それ以外は適切である。

第2問A				
問1	用言活用ㄸ不規則 낫다	3	2	4級
問2	用言の連体形ㄹ語幹の場合 가늘다	4	1	4級
第2問B				
問1	用言活用ㄹ不規則 이르다	4	2	4級
問2	用言の連体形ㅁ語幹（正規／不規則） 굽다	3	1	4級

*第2問Bの問1、不規則活用の問題もほかに該当する語がほとんどなく、それ1語を覚えていればよい問題ではあるが、センター試験の問題としてはあまり適切ではないと思われる。それ以外は適切である。

第2問C				
問1	連語表現 이 / 가 어떻게 되세요?	3	1	4級
問2	助数詞 장	1	1	3級
問3	目的格助詞 를 위하다	3	2	4級
問4	副詞 방금	3	3	4級
問5	語彙 눈을 감다	4	3	3級
問6	副詞 비로소	4	—	3級
第2問D				
問1	語彙（類義語） 시집가다 / 결혼하다	—	1	3級
問2	類似表現 으려고 하다 / 을까 하다	3	2	3級
問3	類似表現 다시피 / 바와 같이	—	2	3級
問4	語彙（類義語） ㄴ 적 / ㄴ 일	3	3	3級

第2問E				
問1	語彙（複数の意味） 나누다	3	3	3級
問2	語彙（複数の意味） 사이	3	3	準2級

*第2問E、語彙の複数の意味を問う問題は、本試験と同様に興味深い問題ではあるが語彙の選定については配慮が必要であると思われる。それ以外は適切である。

第2問F				
問1	翻訳 ~ 깨	2	1	3級
問2	翻訳 慣用的用言 발이 넓다	3	—	準2級
問3	翻訳 ことわざ 호랑이도 제 말 하면 온다	3	—	準2級
問4	翻訳 語彙 잠이 깨다	—	3	準2級

*第2問Fの問2の慣用表現についても本試験と同様に、現況では範囲の提示が必要ではないだろうか。それ以外は適切である。

第3問A				
問1	語彙 모래	1	1	4級
問2	文脈意味 慣用表現 그 동안 어떻게 지내셨어요?	3	1	4級
問3	文脈意味 누구 / 모르다	1	1	3級
問4	文脈意味 命令非丁寧形 있어라	3	2	3級
問5	文脈意味 어떻게 ~? 비비다	3	2	3級
問6	連結の語尾 르 텐데	3	3	3級
問7	文脈意味 왜 -서 / 오라고 하다	3	2	準2級
問8	文脈意味 ~ 면서요? / 게 됐어요	3	3	3級
第3問B				
問1	文脈意味 어떻게 생기다	3	1	準2級
問2	翻訳 아무 ~ 없다	3	2	3級
問3	翻訳 ~ 지 그렇다	4	3	準2級

*第3問Bの問3は、高校生に限らず韓国朝鮮語の学習項目としてはかなり難易度の高い問題であり、センター試験の問題としては不適切ではないだろうか。来年度以降はこのような問題が出題されないように要望したい。それ以外は適切である。

第4問				
問1	連結語尾 다	4	4	準2級
問2	読解・指示語意味 그러던	4	2	3級
問3	翻訳（慣用表現） 그도 그럴 것이	—	—	準2級
問4	翻訳（慣用表現） 그렇게 -을 수 없다	3	1	準2級
問5	読解（総合）	4	3	3級
第5問				
問1	類似表現 더 바랄 것이 없지만 / 가장	—	3	3級
問2	指示語意味把握／読解	3	3	3級
問3	読解（総合） 기 전	2	1	4級
問4	読解（総合）	3	3	3級

*第4問の間1・3の連結語尾及び慣用表現の問題もかなり難易度が高い。来年度以降はもっと標準的な問題を採用してほしい。それ以外は適切である。

[本試験及び追試験の各巻ごとの問題数とハングル能力検定のレベル分布]

	慶熙大	延世大		ハングル検定
1巻	9問	3問	5級	1問
2巻	14問	29問	4級	21問
3巻	42問	22問	3級	53問
4巻	13問	1問	準2級	17問
—	14問	9問	2級	0問

3 おわりに

以上、我々の調査・分析から、今回の試験問題の内容・範囲・難易度について、ほぼご理解いただけたと思う。既存のテキストでは慶熙大・延世大ともに3巻を終了していれば、6～7割の得点が可能という結果が出た。現地では約600時間の学習時間であるが、これを300時間に短縮して学習しないと、12単位の枠におさまらない。例えば、4単位ずつ1年に1巻ずつ学習していくわけだが、テキストに記載された膨大な語彙や表現を精選して学習すれば、不可能ではないだろう。今回のセンター試験では、およそ2000～2500個程度の語彙が使用されていると思われるが、事前に1500～2000個程度の高校生向けの基礎語彙が作成され、これが公開されれば受験する側にとっては非常に学習がしやすくなり、受験者も増えるのではないだろうか。来年度の実施に向けて、基礎語彙の作成と事前開示を問題作成部会と意見評価委員双方の緊急課題として提案したい。

最後に、今回我々の近くにいる、ある3人の学生に試験問題を解いてもらった。その結果を提示しておく。参考にしていきたい。

A = 97点 B = 105点 C = 169点

Aは高校で2単位の授業を履修し、さらに1年間毎週1時間ずつ市民講座に通い学習し、なおかつ3年間の韓日学校間交流を通じて数回に渡っての渡韓経験のある高校3年生である。Bは高校で週6時間ずつ2年間学習し、さらに2年生の夏に6週間韓国で研修を受けた高校2年生である。最後のCは、高校で4単位を履修し、現在外国語系の大学で韓国語を専攻している大学1年生である。3名とも「難しい、難しい」と言いながらも、試験結果については満足・納得している様子であった。

来年のセンター試験は、果たして何人の受験者たちに、達成感と満足感を与えることができるだろうか。将来をうかがう上で、2年目の実施は、特に重要である。